

BRAND LOGO CONCEPT



禁煙日を、 記念日に。

禁煙を、「ひとりで我慢するもの」ではなく、
「誰かのために行く」「周囲のみんなが応援してくれる」アクションにしていきたいという思いから、
『ascure卒煙』は、ブランドのビジョンを「禁煙日を、記念日に。」と決めました。

禁煙に挑戦する人が、人生の次のステップへ進む瞬間を、ポジティブに、
そして、その人の周囲の家族や友人、恋人、同僚もまた、ポジティブに、
禁煙というアクションを受け入れられるムードをつくっていく。
それが『ascure卒煙』というブランドデザインの指針です。

「禁煙日を、記念日に。」というビジョンは、これまでだれも宣言することのなかった、前例のない挑戦。その挑戦を裏づける根拠や事実がなければ、それは、ただの大言壮語でしかありません。『ascure卒煙』の表象となるロゴは、『ascure卒煙』というサービスの価値の源泉から着想し、「禁煙日を、記念日に。」というビジョン実現の「ファクトの表現」という役割を担うことにしました。

VISIONARY IMAGE

禁煙日を、
記念日に。



SOURCE OF VALUE



『ascure 卒煙』 ロゴに込めた思い

医師開発の専用アプリと指導員が連携することにより、
親身で多面的なサポートを実現する新しい禁煙プログラム『ascure(アスキュア) 卒煙』。

そのロゴ、およびシンボルマークのデザインには、これまで「孤独な戦い」とされてきた禁煙に対し、
「心理的サポート」と「空白期間を埋める」という新たなアプローチを実践し、
禁煙支援を行う本プログラムの特徴と思いが込められています。



医師開発アプリと指導員が、一体となって卒煙をサポート

『ascure卒煙』の「a」と「c」

2つの文字の組み合わせからなるロゴデザインは、

医師・指導員・アプリ、そして禁煙を決意した方が一丸となって卒煙に取り組む様子をヴィジュアル化。

禁煙中、決意が揺らいだり、心が折れそうな時でも、

喫煙者を決して孤独にせず、文字通り寄り添いながら心理的な面においてもサポートを行うという

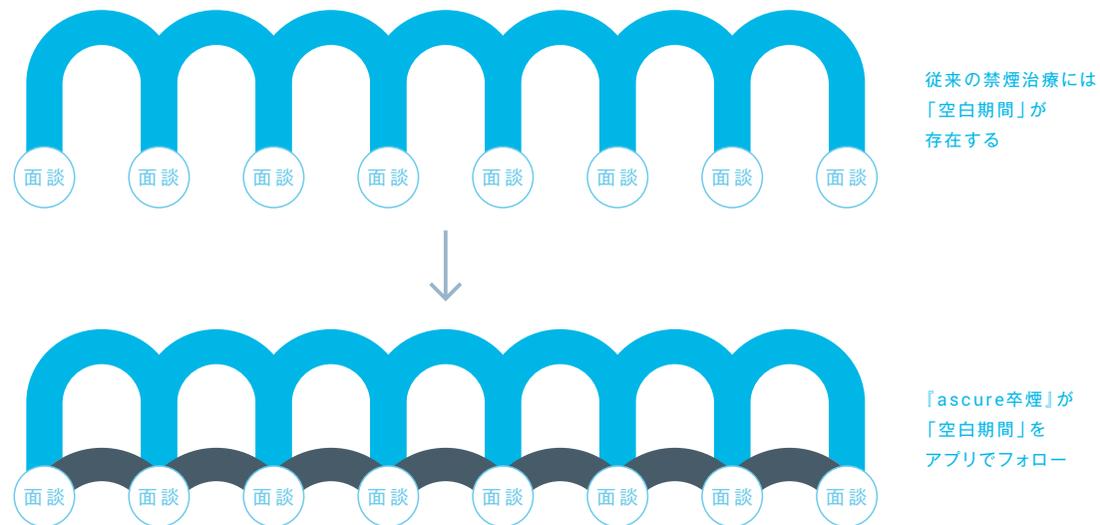
本プログラムの特徴と想いをシンボリックに表現しています。



2つの文字が寄り添う様子をシンボルマークに

禁煙支援における「空白期間」と「心の隙間」を埋める

従来の禁煙治療には、診察と診察の間の時間、つまり在宅時や出勤時、勤務中などにおける治療の「空白期間」が存在しました。『ascure卒煙』のシンボルマークは、禁煙支援の「空白期間」、またその際に生じる心の隙間を専用アプリで毎日フォローすることで「埋める」という、本プログラム最大の特徴を表しています。

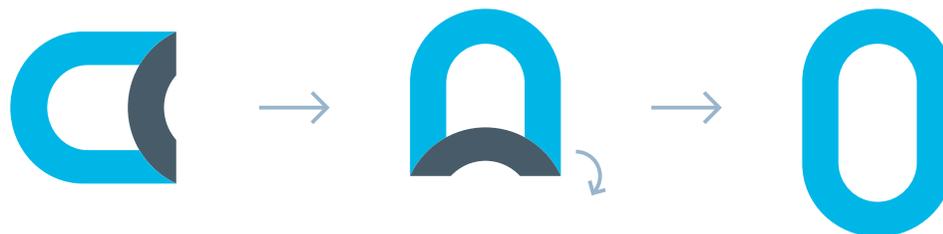


「空白期間」を埋めることを表現

『ascure 卒煙』で、タバコを「0本」に

『ascure 卒煙』のシンボルマークには、数字の「0（ゼロ）」が隠されています。

これは、本プログラムのゴールである「禁煙の成功」＝「タバコ0本」を表わしているだけでなく、本プログラムを終了し、晴れて禁煙に成功した方の眼前に、新たな人生のスタート地点が現れることを表現。すなわち「0（ゼロ）」に向かって進んでいく方のためのプログラムであることを示しています。



「0（ゼロ）」に繋がるカタチ